

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 4月 11日
事業名 児童発達支援みつばち

配付数 31 回収数 22 回収率70.9%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22				天井が高く開放的。きれいに片付けてあってスペースがある。	今後も安全面・衛生面に留意していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2	1	2	療育後に、専門的な解説を交えながら、わかりやすく報告して下さる。	専門性を高めていけるよう研修等で勉強していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	2		2	・片付ける場所や、トイレなどわかりやすい。 ・車イスは難しいだろうと思います。	お子さんにとってわかりやすい構造化された環境づくりに努めていきます。 トイレに手すりは設置されていますが、玄関の上り口はバリアフリー化されていないので、改善の必要を感じます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	1			きれいで明るい環境。	消毒・清掃を行っていくと共に、安全面にも気をつけていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22				わかりやすく、本人にあった計画を立てて下さる。	保護者の方とのやりとりを密にし、ニーズや課題に合った支援計画を作成できるように努めていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	1		1		児童発達支援ガイドラインについて、適宜ご説明できるようにしていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22					計画倒れにならないように実行していきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22				多様なプログラムを行って下さる。季節ごとに合ったものも行って下さる。	子どもの発達を総合的にアプローチしていけるように考えていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	2		6		今後、考えていきたいと思っています。

保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1			今後もわかりやすいご説明ができるように心がけていきます。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20	1		1	今後も丁寧に説明できるようにしていきます。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	16	1		5	家でも遊びとして取り入れやすいものを教えて下さる。	主に土曜日の午後に行われています。ご参加いただき、参考にさせていただけるような内容を考えていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22				利用時は毎回、どんな様子かどんな反応があったかを詳しく教えて下さる。	今後も療育での様子をお伝えしていくとともに、ご家庭での様子なども共有していきたいと思っております。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	3			親身に家でのことなど聞いて下さる。とても丁寧。	定期的な面談以外にお話がある時は、気軽にお声掛けいただけるように、信頼関係の構築に努めていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	4		1		今年度は2月の保護者交流会の開催となりました。今後も多くの方にご参加いただけるよう周知してまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明せられ、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20			2		引き続き保護者の方と相談しながら、適切な対応を心がけていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22				子どもの意思疎通しやすい方法で行っているの、ありがたい。	必要に応じて視覚的なものも併用するなど工夫していきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	1		3		「おひさま通信」「ホームページ」にて発信させていただいています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	22					事務室の書庫で厳重に保管しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18			4		各マニュアルを策定し、研修・訓練等も実施しています。訓練実施の報告等を保護者のみなさまにお知らせしてまいりたいと思っております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18			4	まめに避難訓練が行われ、わかりやすく、本人も覚えやすい。	事業所内で実施し、緊急時に備えています。

満足度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	16	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌がることもあったが、本人のペースに合わせ対応して下さり、楽しみのになっている。 ・とても楽しみにしています。一緒に学ぶ友達と仲良くさせてもらっています。 	<p>お子さんが興味をもって、楽しく取り組める療育を常にこころがけていきます。療育が楽しいことばかりとは限りませんが、お子さんが安心して自信をもって課題を乗り越えられるように一層努力してまいります。</p>
	②③	事業所の支援に満足しているか	20	2		<ul style="list-style-type: none"> ・連携がとれていて、こちらの意向も聞いて下さるので、非常に満足している。 ・毎週丁寧にお話ししてもらって、毎回こちらも勉強になります。ありがとうございます。 	<p>どのお子さんにとっても、どの保護者の方にとっても安心できる場所になれるように努めていきます。</p>

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 11日

事業名 児童発達支援みつばち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である。	○		運動遊具の配置等に配慮し、十分に動けるよう工夫している。	
	②	職員の配置数は適切である。	○		理学療法士や公認心理師の専門性を活かした療育を実施している。	配置基準数は満たしているが、現在配置されている専門職以外にSTの配置があるとよりニーズに合った専門的な療育が目指せると思う。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。		○	療育室については動線を考慮したり視覚的に掲示したりするなどの工夫をしている。	施設入口の段差等の解消等、必要に応じ町と協議しながら進めていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○		療育後の清掃を徹底して行っている。	敷地内に外で活動できるスペースがないため近隣の公園等を活用している。
業務改善	⑤	業務改善をすすめるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している。		○	その日の活動についての反省評価は毎日実施できている。	療育の質を高める意味からもPDCAサイクルの実施を業務全般において行なうことで、業務改善が図れると思う。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		毎年1月～2月に評価表の実施は行っている。	保護者のみなさまのご意見を参考にさせていただいております。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。		○	ホームページ等で公表するとともに、保護者説明会等で直接ご報告させていただいている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		機会を持てなかった。今後、実施に向け検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		事例検討や学習会、外部研修の参加等行っている。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		保護者の方との面接やお子さんの観察、客観的な指標も参考にしながらの作成を心掛けている。	保護者の方にもご協力いただき、家庭等と連携して支援ができるようにしていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○		田中ビネー検査やKIDS等の検査を使っている。	

適切な支援の提供

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	○		項目別に記載し、わかりやすく示すことができよう工夫している。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		定期的にモニタリングを行い、支援にあっている。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		週1回時間を作って話し合いを行っている。	お子さん一人一人の特性を踏まえながら得意なことが活かせるような内容を心掛けている。
⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	○		職員が交代で考えている。	複数で話し合いをし、検討している。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	○		年齢や状況に応じて、個別療育と集団療育、親子療育等を組み合わせて行っている。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○		毎朝、朝礼時に打ち合わせを行っている。	同事業所内の他事業の活動内容や利用児について情報共有することで事業間の連携が取りやすいようにしている。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している。	○		毎日、活動終了後に行っている。	振り返りで上がった事項について記録に残し反省点を生かすことができるようにしている。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○		日々の支援に関して担当が記録を残している。	事例検討等、支援の振り返りを記録を基に行っている。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	○		半年に1回以上のモニタリングの面談を行っている。	面談結果を参考にしながら担当職員が複数で検討を行っている。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○			要請があった場合は児発管や担当者が参加できる様調整している。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	○		町の保健師等と連携しながら支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携

⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	○		相談事業所も含め、関係機関と連携した支援を行っている。	看護師が不在のため保護者と一緒に療育に参加していただいています。リハビリスタッフが必要に応じて、他事業所等との連携を取っております。
㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	○		契約時や更新時に保護者の方に医療機関の連絡先を書面に記入していただいている。	必要な時に連絡を取るようになっているが、日常的に連携できる体制を整えられると良いと思う。
㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○		就園のタイミングで情報共有を行っている。	
㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○		就学のタイミングで情報共有を行っている。	移行支援シートを作成し、保護者の了承を得られれば就学先へ情報提供を行っております。
㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○		他市の発達支援センターへの事業所説明会に参加し、情報を伝達し共有した。	
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	○		地域の公園に出掛ける等の機会はあったが、定期的に交流を持つようなことはできなかった。	定期的に交流を持つような行事を設定し、お子さんたちの経験の幅を広げられるよう検討していきたいと思う。
㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加している。	○			「就学支援委員会」には参加する機会があったが、自立支援協議会には参加しなかった。
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○		毎回活動終了後に活動内容やお子さんの状況について直接お伝えする時間を設けている。	個別にお話をする機会が十分に持てなかったことがあり、その面の改善をしていく。
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている。	○		主に土曜日の午後に保護者研修会を行った。	研修会時にお子さんのお預かりなども実施しているが、参加人数は少ない。保護者の方のニーズに合った研修内容を精査し、多くの方に参加していただけるようにしていく。
㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○		契約時にご説明させていただいている。	
㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	○		保護者の方にご説明させていただいている。	直接ご説明して同意を頂くようになっているが、遅れがちになっている。適切な時期にご説明できるように計画的に進めていく。
㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○		半年に1回以上のモニタリングの面談を行っている。	適宜家庭訪問等も実施させていただいている。

保護者への説明責任等

⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	○	保護者交流会の実施は研修会後の1回のみで、参加者も少数だった。	保護者交流会の実施と土曜日の親子療育時等に情報交換等の時間が設定できるよう検討していきたい。
㉑	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応している。	○	相談受付の体制を整え、契約時やモニタリング面談時にお伝えしている。	相談や申し入れがあった時には、出来るだけ迅速に対応できるようにしている。必要に応じ、専門家や法人事務局等と連携できるようにしている。
㉒	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○	「おひさま通信」やHPでお知らせしている。	「おひさま通信」は月1回、HPは不定期で更新している。お伝えする内容について深めていけるよう考えていきたいと思う。
㉓	個人情報の取扱いに十分注意している。	○	名前や写真の掲示等も含め、保護者の方に確認しながら行っている。	十分に留意している。気になることがあった時に気軽に職員に話しができるような関係づくりに努めていく。
㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	○	視覚的なもので補いながら伝え方の工夫をしている。	
㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○		事業所単独での開催にはならなかったが、法人全体での交流会を開催した。法人内で工夫し開催できる方法を検討していきたい。
㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	○	契約時にご説明させていただいている。施設全体で研修や訓練を実施している。	新規契約時だけでなく、更新時にもご説明できるよう留意していく。
㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○	施設全体で研修や訓練を実施している。	様々な場面を想定した訓練が実施できるよう工夫していく。
㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	○	契約時に保護者の方や関係機関から情報提供を受けている。	看護師が不在の為、対応できないことも起きてしまう。法人内等で協力体制を作り対応できるよう検討していく。
㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	○	保護者の方からのご要望によりおやつ等への配慮をしている。	指示書がある場合には確認をする様に情報共有を心掛けていく。
㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○		ヒヤリハット事例集を意識して作成し、共有することで事故を防いでいけるようにしていく。
㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○	事業所内で研修を実施した他、外部の研修にも参加している。	様々な資料を活用しながら画一的な研修になることがないように工夫していく。

非常時の対応

④	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。</p>	○	<p>支援会議等で検討し、個別支援計画に記載して保護者の方に了解を得ている。</p>	<p>身体拘束をしなくても済むように、前後の支援の在り方の見直しを日常的に行っていく。</p>
---	--	---	--	---

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 6年 4月 11日

事業名:放課後等デイサービスたんぽぽ 保護者等数(児童数)23 回収数 13 割合 56.5 %

		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見等を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	3		スペースはないけれど、工夫してやってみていただいています。	PTや個別療育は別室で、療育部屋はおやつや宿題時はスペースを分けています。部屋全体をその時々々の活動内容に合わせて変えています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	4			PT、心理士を配置しています。研修を重ね、専門性を高めてまいります。
	③ 事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	7		車イスは難しいだろうと思います。	現在は対象者がいませんが、必要とされる方がいる場合は迅速な対応を法人、上三川町と協議してまいります。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか。	13				保護者のニーズや相談支援事業所などの客観的な意見を合わせて作成しています。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	13				集団の中で様々な経験ができるよう工夫しています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6	5	・相手の理解が得られれば、一緒に活動できるといいが、難しい問題でもあると思います。 ・交流がなくても不満はないです。	地域の公園などでの活動は取り入れていますが、長期休暇中などにお互いの理解が得られれば交流できる場を模索してまいります。
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1			更新時にご説明をさせていただきます。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13				その日の様子をお話しさせていただきます。気になることがございましたら、お気軽にお尋ねください。
	⑨ 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1			不安な事等がありましたらいつでもお声掛けください。
	⑩ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	7	5	1		保護者研修会や保護者交流会を実施しています。お忙しい事と思いますが是非ご参加いただければと思います。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	5			玄関にご意見箱を設置してありますので忌憚ないご意見をお願いします。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13				お気づきの点がありましたらご遠慮なくお申し出ください。
	⑬	定期的に会報やホームページ等活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	2			ホームページやおひさま通信で活動の様子やお知らせを発信しています。
	⑭	個人情報に十分に注意しているか	12			無回答1	守秘義務がありますので、保護者の方々が不安に思われることがないようにこれからも気を付けていきます。
非常時の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4	1		開示をご希望の場合はお気軽にお声かけをお願いします。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	3		無回答1	月に1度施設内で避難・防災訓練を実施しています。洪水時の避難訓練等も行っております。おひさま通信には日程を記載しておりますが、訓練の様子などを伝えていきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1		嫌がった時は今までないです。	これからも楽しく通っていただけるような居場所作りを心がけていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13			とても丁寧にみてもらってありがたいです。安心して預けられます。	これからもお子様、保護者様のニーズに答えていけるように努めてまいります。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 4月 11日

事業名 放課後等デイサービスたんぽぽ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		個別の支援や保護者との面談など被らないように時間を割り振りしている。	
	② 職員の配置数は適切であるか		○	休みや急な下校時間の変更時はおひさまの家全体でフォローし合っている。	
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	玄関のバリアフリー化が為されていない。	建物のハード面で改善の必要あり。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員参画しているか。	○		支援終了後にその日の振り返り、意見を出し合っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		希望に沿えるように職員間で話をしている。	貴重なご意見を改善につなげるように努めてまいります。
	⑥ この評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		ホームページ上で年1回、お便り、事業説明会で周知している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に努めているか。		○	実習生を受け入れや法人内の発達アドバイザーからの助言は受けている。	様々な意見を尊重し、改善につなげるようにする。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		事業所内外の研修を受講している。	今後も研修を重ね、支援の専門性を高めてまいります。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		6か月に1度モニタリングを行い保護者のニーズに合った、また相談支援、関係機関など客観的アセスメントをして個別支援計画書を作成している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		使用している。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		週ごとに担当を決めできたものをチームで検討している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		同じものを繰り返すことも大事であり一つのテーマを内容を変えて行っている。それとは別に皆で楽しめる遊びを日ごとに変えて行っている。	マンネリ化しないようないろいろなプログラムを提供する。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○		それぞれ時間ごとのスケジュールや季節に応じたプログラムを組んでいる。	
	⑭ 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別療育が必要と思われる場合は保護者と話し合い集団とは別に時間を取っている。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		時間を決め話し合いをしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援終了後に振り返りを行い、改善点がある場合は共有している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		担当を決め、情報を共有し、複数の目を通してその日の記録をしている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		6か月に1度モニタリングを実施し、見直し点を記載している。	保護者の意向を汲み取れるようにする。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行なっているか	○		静と動なども取り入れ飽きのこないプログラムを心掛けている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		管理者、児発管が出席している。	
	㉑	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		月初に保護者からいただいた下校予定表を基に送迎等に関する計画を立てている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		対象児童がいない。	ハード面に加え、看護師配置など、受け入れるための環境作りができていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所と連携し、情報共有を行っている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		今年度の卒業生1名は情報提供をしなかった。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		心理士の助言を受けて支援について検証しながら進めている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		交流の機会がなかった。	同時間帯の中での交流は難しい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加の機会がない。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況屋課題について共通理解を持っているか	○		保護者のお迎え時、送迎時にその日の様子を伝えていく。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者研修会等を実施している。	回数を増やせるとよい。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約更新時に行っている。	
	㉑	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じ話を傾聴し、助言等を行っている。	

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	○	研修会の後に交流会等を開き、保護者同士の交流を図れるようにしている。	交流会の開催時は多くの方にご参加いただけるように工夫していきます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について対応の整備をするとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	苦情があった場合は速やかに対応し、職員間で検討会を開いている。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	月に1度おひさま通信を発行している。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○	個人のファイルは鍵のかかる金庫に保管。廃棄物は個人名等が分からないように十分に気を付けている。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	視覚面、聴覚面での配慮や部屋の利用や時間などを配慮している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	法人全体での実践交流会を実施した。	
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	それぞれのマニュアルを策定し必要に応じて保護者に説明している。	必要に応じて詳細の開示をする。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	月に1回避難訓練や防災訓練を行っている。内、年2回は児童発達支援事業と合同で行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	年3回全職員を対象に実施している。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	必要な場合は保護者と話し合った上で承諾を得、個別支援計画書に記載している。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーがある場合は保護者から指示を受けている。全員が共有しおやつ準備時は一つずつチェックしている。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット用のファイルを設置、共有している。	